

MWC 2017	役員・部長が読んだ記事	中国産業ウオッチング	FACTORY	Social Device	デジタルヘルス	リア
AI	IoT	メガソーラー	スポーツ	5G	セミナー・技術者塾	PI

HOME > エネルギー > メガソーラー > 岡山市で約37MW、伊藤忠などがメガソーラー竣工

ニュース

▶メガソーラー

岡山市で約37MW、伊藤忠などがメガソーラー竣工

土木は大林組、EPC・パネルは東芝、パワコンはTMEIC製

加藤 伸一 = 日経BPクリーンテック研究所 2017/02/17 19:04 1/1ページ

シェア {0} ツイート

この記事どう？



ためになった



1
仕事に役立つ



知っておくべき

検索する

コメント投稿

印刷

その他 ▼

申し込み受付中！
2017年度
アナログ回路
シミュレーション
検定試験
LTSpice Users Club

伊藤忠商事は2月16日、岡山県において、出力約37MWのメガソーラー（大規模太陽光発電所）「新岡山太陽光発電所」の竣工式を開催したと発表した。

芙蓉総合リース、エネワンソーラーとの合併による特定目的会社（SPC）、新岡山ソーラーが発電事業者となる。出資比率は、伊藤忠商事が50%、芙蓉総合リースとエネワンソーラーが25%ずつとなっている。

エネワンソーラーは、LPガスを手掛けるサイサン（さいたま市）と、太陽光発電開発の森和エナジー（東京都千代田区）による共同出資会社である。

岡山市に立地する。年間発電量は、一般家庭約7600世帯分の消費電力に相当する、約4300万kWhを見込んでいる。

土地造成工事は大林組、EPC（設計・調達・施工）サービスは東芝が担当した。太陽光パネルは東芝製、パワーコンディショナー（PCS）は東芝三菱電機産業システム（TMEIC）製を採用した。

今回の稼働により、伊藤忠商事が参画する国内のメガソーラー事業のうち、稼働済みは愛媛県、大分県に続き3か所となった。

施工中の佐賀県の案件を合わせると、合計出力は約130MWとなる。今後、合計出力200MWを目指して開発を続けていくとしている。



出力約37MWの「新岡山太陽光発電所」

（出所：芙蓉総合リース、サイサン）
[画像のクリックで拡大表示]



竣工式を開催

左からサイサンの川本社長、伊藤忠商事 金属カンパニーの米倉プレジデント、芙蓉総合リースの山田専務（出所：伊藤忠商事）
[画像のクリックで拡大表示]

おすすめ情報

【テクノロジーオンラインお薦め】

解説：豊田章男社長が語るトヨタのクルマ特集：「ソフトバンク」有料会員、2カ月無料キャンペーン 便利な有料会員サービスの使

【話題のイベント】

AR時代の開閉、ウエアラブル自動車未来サミット2017spring

【イベント速報！】

ジュネーブモーターショー Mobile World Congress デトロイトモーターショー

記事ランキング

- 1 光を当て水からベース触媒で実と関西学院大
- 2 国内最大級の蓄電池14MWh
- 3 太陽光パネルの小型パワコン、に開発

▶ニュース一覧 | ▶トップページへ

この記事どう？



ためになった

0



この記事の評価

1



知っておくべき

0

プレミアム記事ランキ

- 1 MRJ、繰り返し更、改めて痛感
- 2 デンソーが考え Ethernetのカタ
- 3 200万円でも静かなクルマ